

POLA X 梅田 蔦屋書店

ポーラ『WE／』と梅田 蔦屋書店の コラボレーション企画【6/15(金)～6/24(日)】を開催

株式会社 ポーラ（本社：東京都品川区、社長：横手喜一）は、二子玉川 蔦屋家電や梅田 蔦屋書店をはじめとしたCCCグループとBEAUTY CULTIVATION（磨く、養う、ともに高め合う）のコラボレーションスローガンのもと、美しくあるための感性を刺激する体験をお届けしています。

2018年第一弾として4月から約1ヶ月間にわたり開催した二子玉川 蔦屋家電とポーラ企業文化誌『WE／』5・6月号「かなでる 縄文×近未来」とのコラボレーション企画は、約5,000人もの来場者を記録し、おかげさまで大好評のうちに終えることができました。第二弾は梅田 蔦屋書店（大阪府大阪市）にて2018年6月15日(金)～6月24日(日)までの10日間、イベントを実施いたします。

<https://www.pola.co.jp/special/beautycultivation/>



縄文時代の象徴である土偶に近未来要素をかけあわせた全長約3メートルの真っ赤なオリジナル巨大土偶に自由に模様をつける体感型インスタレーションをはじめ、「かなでる」をテーマに企画した対話セッション・ワークショップ「POLA TALKERS' MUSEUM FEAT.WE／」、『WE／』編集部と梅田 蔦屋書店BOOKコンシェルジュによる「かなでる」選書など様々なコンテンツをご用意。梅田 蔦屋書店の館内各所を『WE／』の世界観で彩ります。

さらに今回、「土偶に願いを」をテーマにした参加型コンテンツを実施します。

縄文時代、人々の願いや想いを託されていた土偶。勾玉の形をしたシールにあなたの叶えたい近未来を書き込んでいただく企画です。参加してくださった方には化粧品サンプルのプレゼントも。

「縄文ブーム」や「土偶女子」という言葉も生まれるほど、映画や美術など様々な分野でますます注目が高まる縄文時代の世界をポーラが「近未来」という新たな視点とかけ合わせます。

是非このコラボレーション企画をご体感ください。

■開催期間：2018年6月15日(金)～6月24日(日) 11:00～21:00

■開催場所：梅田 蔦屋書店 ガーデンラウンジ（大阪府大阪市北区梅田3-1-3 ルクア イーレ9F）

ポーラ企業文化誌『WE／』 縄文×近未来 体験型インスタレーション

「縄文×近未来」をテーマにした、体験型インスタレーションが登場。会場で圧倒的な存在感を放つ、全長約3メートルの真っ赤な縄文×近未来 オリジナル土偶は、体部分が粘土素材になっており、自由に模様をつけていただく事ができます。会場には、国宝である「縄文のビーナス」「仮面の女神」（協力：茅野市尖石縄文考古館土器サークル 小平 一次様）、重要文化財である、「円錐形土偶」（協力：南アルプス市ふるさと文化伝承館）のレプリカと、『WE／』オリジナル土偶を展示するなど、さまざまな特殊展示を展開します。

「かなでる」選書

梅田 蔦屋書店 BOOKコンシェルジュと、『WE／』編集部が、「かなでる」をテーマに選び抜いた、小説、漫画、絵本など、様々なジャンルの書籍を紹介するコーナーを設置しています。

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ 宣伝部 TEL 03-3494-7119 / FAX 03-3494-6198 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3
担当：小林、堀、山村、野口、河野、藤井、勝田



体験型トークイベント「POLA TALKER'S MUSEUM FEAT.WE／」

「POLA TALKER'S MUSEUM」は、「出会いから、一歩前へ」をコンセプトに、出会いのきっかけをつくり出している体験型トークイベントです。これまで様々なコラボレーションを実現してきました。ポーラ企業文化誌「WE／」5・6号のテーマは「かなでる」。領域にとられない日本的感性で「かなでる」という言葉を感じながら、分野の最先端を走る第一人者たちの想像力と、その先に見えてくるものに迫ります。

● 6月17日(日) 13:30～15:00 「ひと文字が導く、これから。」

川尾 朋子さん (書家)
梅田 蔦屋書店 ガーデンラウンジ



あなたの過去、現在、未来をかなでる漢字ひと文字とは？
自分自身の過ごしてきた「これまで」と「これから」を見つめなおしながら、実際に墨や小筆を使い、書のワークショップを行います。
普段はあまり手書きで字を書く機会が少ない方ほど、伝統的な書の世界に新鮮な刺激を感じるのではないのでしょうか？
必要なお道具はすべてご用意いたします。手ぶらでお気軽に、ぜひご体験ください。

川尾 朋子 (書家)
6歳より書を学び、国内外で多数受賞。近年は自身が文学の一部となる人文字シリーズ、二十一世紀連綿シリーズを発表、BBCにて現代の書家として紹介される。
NHK大河ドラマ「八重の桜」OP映像、阪急嵐山駅「嵐山」も手掛ける。京都在住。

● 6月23日(日) 18:00～19:30 「ヴィジョン×わたし_きほんというお守り」

松浦 弥太郎さん (エッセイスト)
梅田 蔦屋書店 ガーデンラウンジ



あなたを宝石のように美しく輝かせ、音楽のように美しくかなでる、未来というヴィジョンを一緒に見つけましょう。
ヴィジョンとは何かを再定義。そして、美しくなるためのきほんとは何か、そのために大切なきほんを、お話しいただきます。
ご応募の際は、松浦弥太郎さんへのご質問をご記入ください。
トークショー後には、松浦弥太郎さんの著書へのサインなどもご対応いただきます。

松浦 弥太郎 (エッセイスト)
1965年東京生まれ。エッセイスト、編集者。2005年から15年3月まで、約9年間、創業者大橋鎮子のもとで『暮しの手帖』の編集長を務め、その後、ウェブメディア「くらしのきほん」を立ち上げる。現在は(株)おいしい健康・共同CEOに就任。タイガー魔法瓶「GRAND Xクラブ」のクリエイティブディレクションを務める。ベストセラーに「今日もていねいに」「しごとのきほん くらしのきほん100」他多数。NHKラジオ第一「かれんスタイル」のパーソナリティとしても活躍。

※事前予約制
申し込みは下記公式サイトよりご確認ください。
<https://www.pola.co.jp/special/beautycultivation/>

ポーラ企業文化誌 『WE／』

『WE／』は、冊子やイベントなどを通して、新しい自分に出会うための気づきとともに創っていく活動です。1950年から「ポーラ美容新聞」として始まったポーラの企業誌は、冊子名を変えながら時代のニーズに合わせて変化を重ね、2017年に企業文化誌『WE／』として新たに創刊いたしました。“伝統と革新”をコンセプトに隔月発行でお届けし、同時にそれに伴うインスタレーションやワークショップ、トークイベント等も展開しています。

『WE／』5・6月号は「かなでる」特集です。“縄文×近未来”というテーマのもと、荒俣 宏さんと井浦 新さんが古代と未来に想いを寄せ想像をめぐらせることで、ここでしか触れられない新たな“かなでる”表現を展開しています。

芽野市尖石縄文考古館と南アルプス市ふるさと文化伝承館の協力により国宝の土偶も出演。高橋 恭司の撮影で、独自の「かなでる」世界をお届けしています。

その他、諏訪 綾子 (アーティスト)、石田 衣良 (作家)、廣川 玉枝 (ファッションデザイナー) のインタビューも掲載。

詳しくは、下記公式サイトをご確認ください。
<https://www.pola.co.jp/we/>

